

キリンビール 2013年2月マンスリー・レポート

1. ビール・発泡酒・新ジャンル市場販売動向

- ビール+発泡酒+新ジャンル計は、マイナスとなったものの、「一番搾り」計はプラスとなったほか、新ジャンル新商品「キリン 濃い味〈DELUXE（デラックス）〉」は好調なスタート。
- ビール計は、マイナス。
- 発泡酒計は、マイナス。
- 新ジャンル計は、マイナス。

《ビール》

- ◆「一番搾り」計は、2月6日にリニューアルし、「ホットスタウト」を提案する「一番搾り スタウト」の販売増や、飲食店向けの樽が好調に推移したことにより、プラス。

《発泡酒》

- ◆「淡麗」シリーズは市場同様にマイナスとなったものの、市場平均を上回った。

《新ジャンル》

- ◆ 8年連続売上げNo.1※の「のどごし〈生〉」は、マイナス。
- ◆ 2月20日に発売した、“デラックス”な濃い味の「キリン 濃い味〈DELUXE（デラックス）〉」は、発売後約1週間で年間目標の約2割となる60万ケースを販売するなど、好調に推移。

※ 2005年「その他の雑酒②」、2006年～2012年「その他の醸造酒（発泡性）①」課税出荷数量による

《RTD》

- ◆「氷結」は、季節限定商品を発売したスタンダードシリーズや、早摘みシリーズの新商品が寄与し、対前年約1割増。
- ◆「本搾り」は、1月発売の新フレーバーの好調に加え、CVS限定の季節限定商品を発売したこともあり、対前年約5割のプラスとなるなど大幅増。

2. 洋酒販売動向

- ◆ 主カバーボンブランドの「フォアローゼズ」は、年初から継続して展開している店頭施策が好評で、前年並みで着地。
- ◆ 主カスピリッツブランドの「スミノフ」と「ギルビー」はともに約1割増。

以 上